

令和3年度 行政評価調書

総合計画 吹田市第4次総合計画

評価対象年度 令和2年度

大綱 7 都市魅力

政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり

施策 1 魅力の向上と発信

施策 2 本市独自の強みを生かしたまちづくり

提出日 令和3年8月2日

提出取りまとめ 都市魅力部

第4次総合計画 施策の評価シート

大綱 7 都市魅力

政策 3 市民が愛着をもてるまちづくり

評価対象年度 令和2年度

<取組内容>

施策	基本計画本文
施策を構成する管理事業	施策の取組状況
7-3-1 魅力の向上と発信	今ある本市の強みをさらに伸ばしていくとともに、市民との連携を深めながら、新たな魅力づくりに取り組みます。また、地域資源を活用しながら、市民がまちの魅力を感じられる機会の充実を図るとともに、魅力の発信に取り組みます。
1 シティプロモーション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・市イメージキャラクターすいたんによるSNSや市公式インスタグラム等を活用し、まちの魅力の発信に努めました。 ・市制施行80周年記念事業については、記念式典など、一部事業が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが「吹田市制施行80周年プロジェクト会議」等と連携し、本市出身の葉加瀬太郎氏のコンサートや記念イベント、PRグッズ作成等の取組のほか、感謝状及び記念品を送付することで、市政への功労者に感謝の意を表しました。 ・吹田まつりの課題であった会場の狭隘化等解消のため、開催場所を万博記念公園に移し、新たに「すいたフェスタ」として開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、本年度は中止としました。これに伴い、施策指標1の「吹田まつりへの協賛・協力団体数が600以上」は、目標を達成できませんでしたが、より多くの企業・団体・市民が参加できる市民祭りとなるよう取組を進めており、進捗状況は「B」としました。 ・吹田市情報発信プラザ(Inforestすいた)では、観光案内リーフレットなど様々な配架物や本市の魅力を伝える展示フェアによる情報発信に努めました。 ・施策指標2「情報発信プラザ(Inforestすいた)年間入場者数」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標を達成できませんでしたが、来訪者の心に響く展示内容の選定等を行うため、新たな運営委託事業者を選定するなど来訪者が増加する取組を進めており、進捗状況は「B」としました。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
7-3-2 本市独自の強みを生かしたまちづくり	大学との連携を進め、豊富な人材、情報、技術などのまちづくりへの活用を図ります。また、さまざまな団体との連携を深めながらガンバ大阪のホームタウン活動を盛り上げ、地域ぐるみでの応援の機運を高めます。
1 大学・ホームタウン等関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学、大和大学との連携推進協議会は書面開催とした他、市内5大学と同協議会の事務担当者会議を最少人数で実施し意見交換や相互に協力依頼を行いました。また、大学の授業に市職員を講師として派遣し、市の施策や取組を学生に周知しました。各大学との連携を活かし、新型コロナウイルス感染症対策関連の情報共有や啓発活動も行いました。また、大阪成蹊大学(東淀川区)からの申し出を受け、令和3年3月29日に連携協力に関する基本協定を締結しました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民ふれあい事業等のイベントが中止となりましたが、キッズフォローアップ事業、ピブス製作配布事業、ガンバ大阪選手着用ユニフォームパンツに「吹田市」掲出等を実施することにより、ホームタウン意識の醸成に努めました。
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

